

てんかんを持つ人の 就労支援を考える

第19回日本外来小児科学会年次集会

市民公開シンポジウム

慢性的な病気や障害を持つ子どもを地域で育てる

2009年8月

 **社団法人 日本てんかん協会**

 **埼玉県支部 副代表 奥田幸平**

(有限会社 輝 代表取締役)

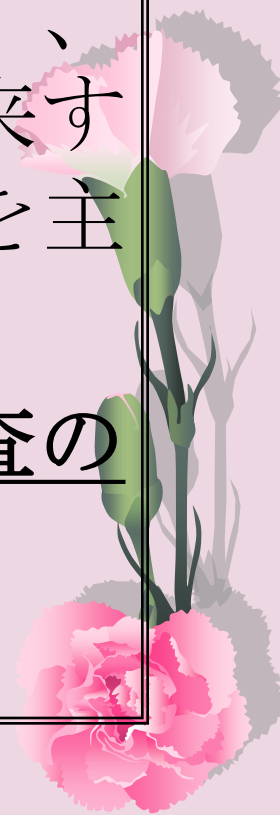


てんかんについて

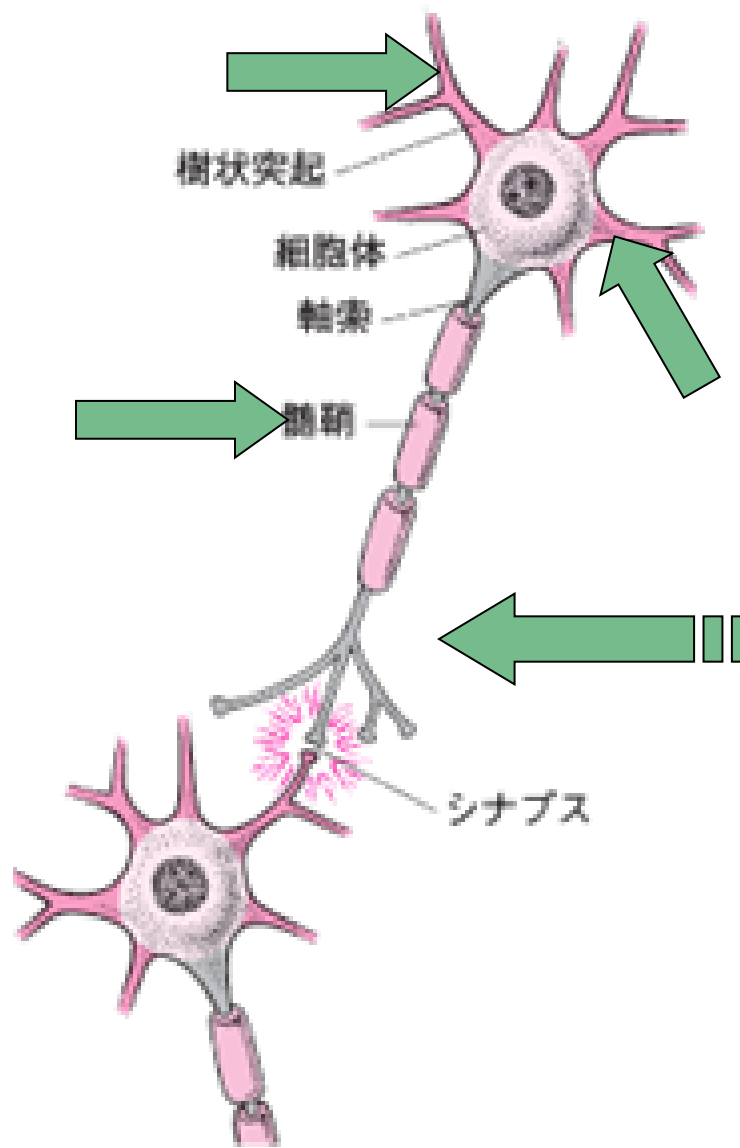
WHOによるてんかんの定義

てんかんとは、さまざまな原因により起こる慢性の脳の病気であり、
大脳の神経細胞の過剰な活動に由来する反復性の発作（てんかん発作）を主徴とし、

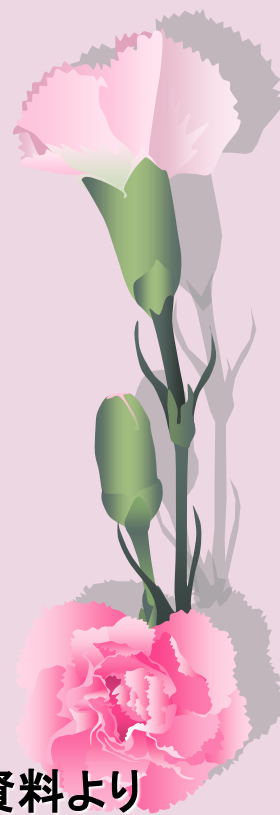
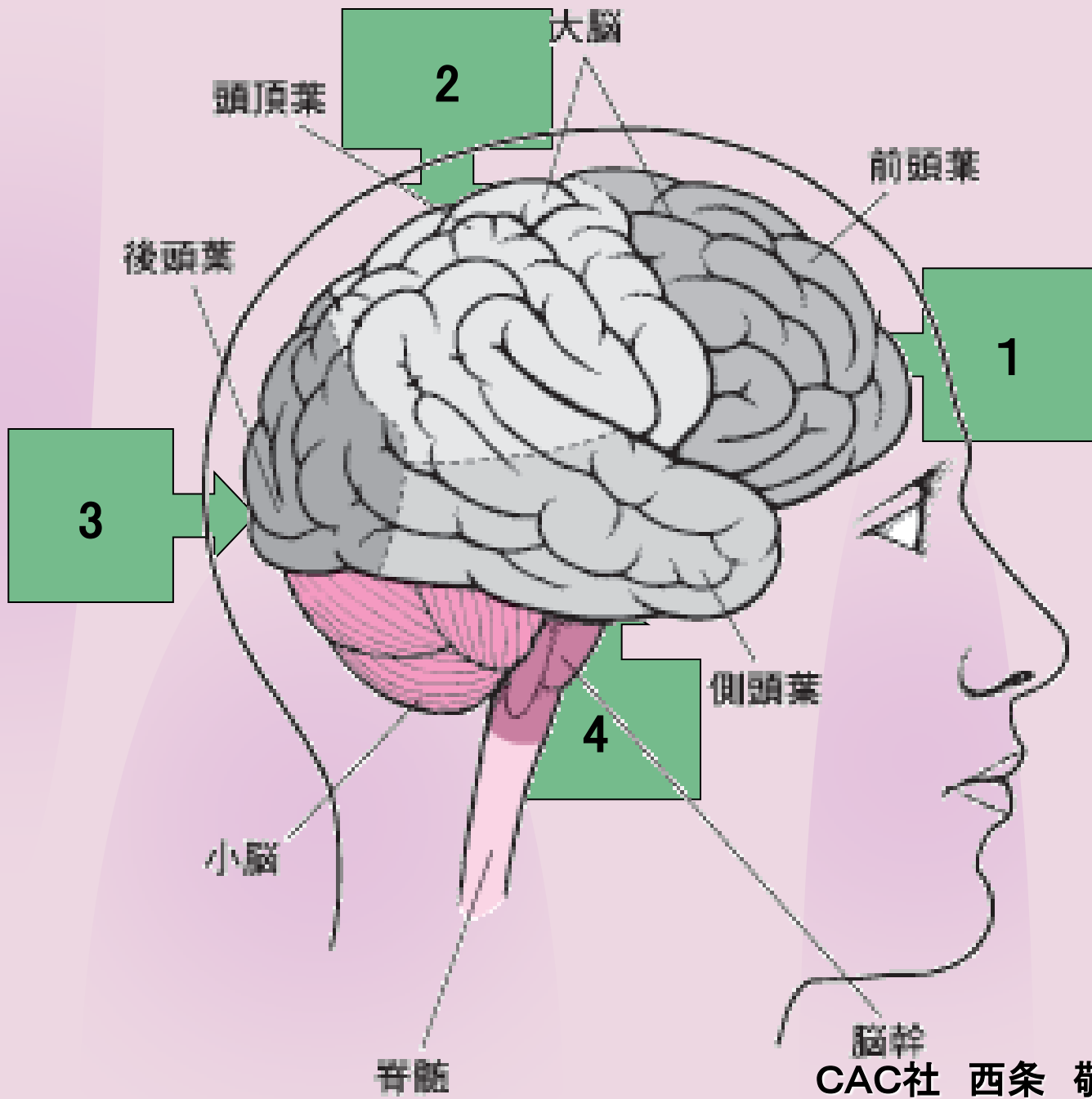
それに変化に富んだ臨床および検査の異常を伴うものです。



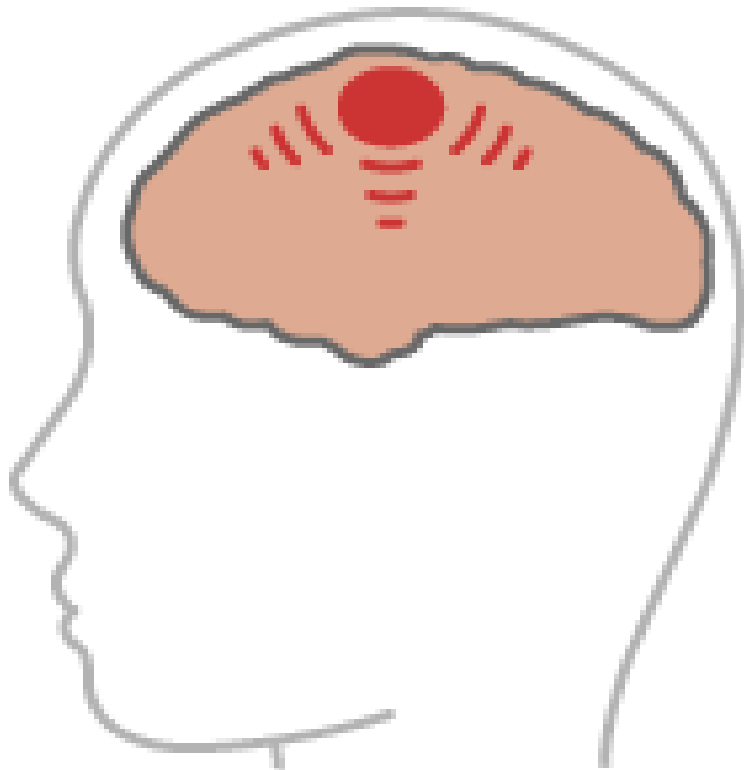
神経細胞の典型的な構造



- 神経細胞(ニューロン)は、大きな細胞体と神経線維、インパルス(電気信号)を伝える1本の長い突起(軸索)、インパルスを受け取る数多くの枝(樹状突起)で構成されている。1つ1つの大きな軸索は、脳や脊髄では希突起グリア細胞に、末梢神経系ではシュワン細胞に囲まれている。これらの細胞には、ミエリンと呼ばれる脂肪(リポタンパク)の膜があり、この膜が軸索に何層にもしっかりと巻きついて、髄鞘をつくっている。髄鞘はちょうど電線を覆う絶縁体のようなもの。神経のインパルスは、髄鞘がある神経の方が、ない神経よりもずっと速く伝わる。もしも、この髄鞘が損傷を受けると、神経伝達が遅くなったり、止まったりする。



部分発作



一部分から徐々に興奮

全般発作



脳全体が一気に興奮





部分発作

＝脳の過剰興奮が脳の一部分から起こる発作

- ❁ 大脳皮質の一部位から発生した過剰興奮により引き起こされる発作。
- ❁ 過剰興奮がその一部位だけにとどまれば、その部位の脳の働きに一致した症状が出現。
- ❁ 部分発作では通常、過剰興奮が一部位だけに留まりますが、ときには脳全体に拡がって全身のけいれんに至ることもあり、この現象を「二次性全般化発作」といいます。
- ❁ 部分発作のうち、発作時に意識のある（発作時のことを覚えている）ものを単純部分発作といい、意識のない（発作時のことを覚えていない）ものを複雑部分発作といいます。



二次性全般化発作

- ❁ 部分発作の症状で始まります
 - * 単純部分発作⇒sGTC
 - * 複雑部分発作⇒sGTC
 - * 単純部分発作⇒複雑部分発作⇒sGTC
- ❁ その後、過剰興奮が脳全体に拡がったために、強直間代発作、あるいは強直発作または間代発作などの全般発作の症状が現れます。



全般発作



全般発作
＝脳全体が一気に過剰興奮状態となって起こる発作

- ❁ 全般発作は、大脳の脳深部における過剰興奮をきっかけとして、脳全体が一気に過剰興奮状態となって引き起こされる発作です。
- ❁ 全般発作では一般に発作の始まりから「意識消失」を伴います。
- ❁ また、けいれんは通常左右対称に起こります。



てんかんの4大類型

🌸「原因」と「発作タイプ」から大きく4つに分類

てんかんの4大類型		発作タイプ	
		部分発作	全般発作
原因	原因不明	特発性局在関連性てんかん	特発性全般てんかん
	脳の器質的障害(腫瘍、交通事故など)	症候性局在関連性てんかん	症候性全般てんかん

どのような経過をたどるの？

❁ 発作コントロール

- * 1980年以前の発作抑制率: 約30%

- * 1980年以降の発作抑制率: 70-80%

❁ 早期に治療が開始されれば良好な予後が期待できる

* 発作が初めて起きてから

- 1年以内に治療開始⇒発作抑制率: 80%以上

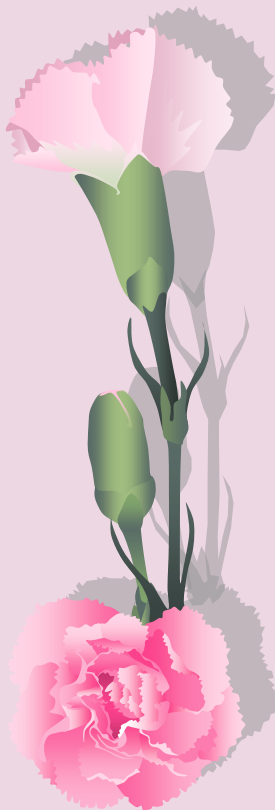
- 1年以上2年以内に治療開始⇒発作抑制率: 30%程度

- 10年未治療⇒発作抑制率: 10-20%程度



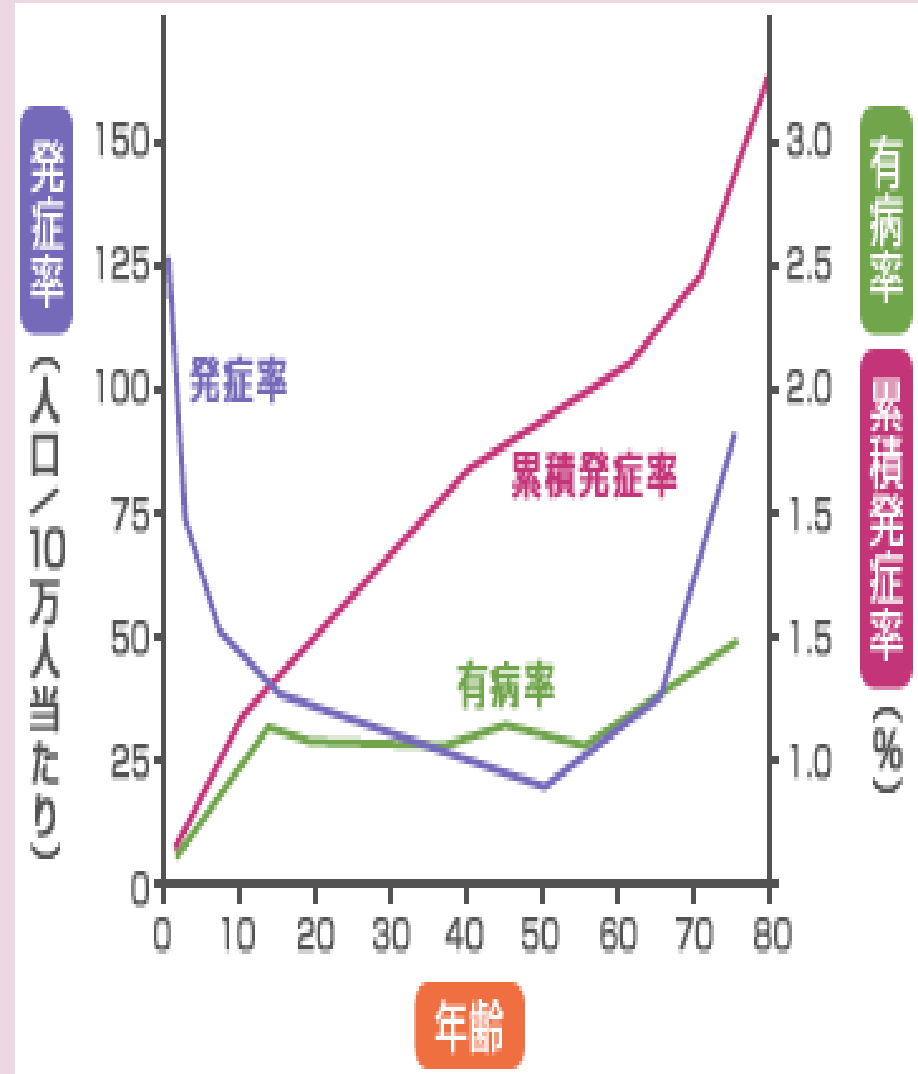
どうして起こるの？

- ❁ 脳の神経伝達機構のバランスが崩れて過剰興奮が引き起こされます



どれくらい多いの？

- 有病率：およそ0.5～1%程度
 - 累積発病率：
 - * 出生から20歳までのてんかんの累積発病率は約1%
 - * 75歳までの累積発病率は3%
- ⇒約3%の人が生涯のいずれかの時点でてんかんをもつことになります。

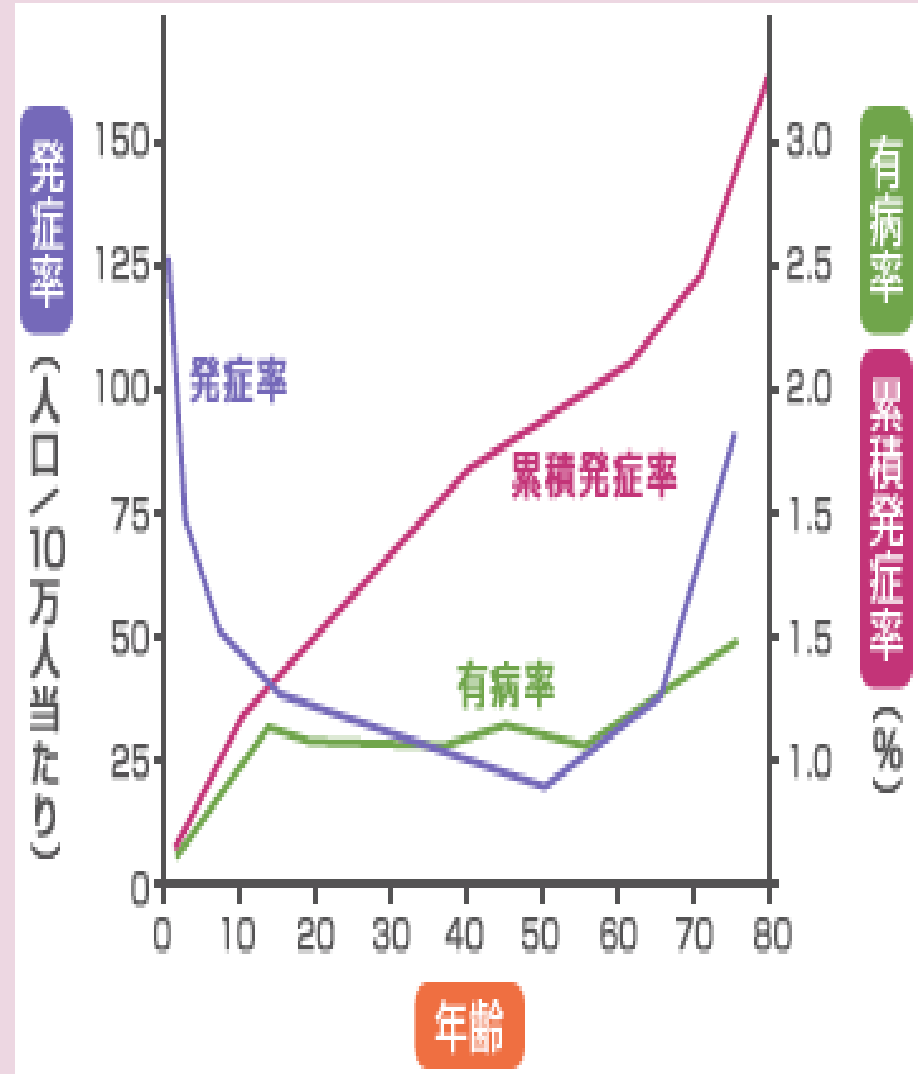


どれくらい多いの？

- ❁ 生後1年未満の発症が多く、ほとんどが思春期までに発症します
- ❁ 老年期には脳血管障害などの疾患が原因で発症がふたたび増加します
- ❁ 明確な病因が特定されてんかんの割合は1/3程度に過ぎません

特発性：65%

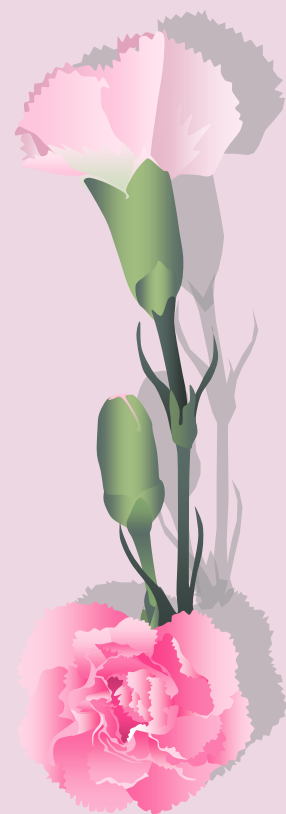
症候性：35%





てんかんで
有名な人

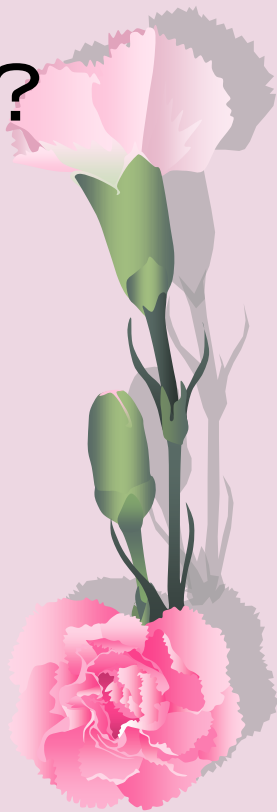
わたしは
パスカル



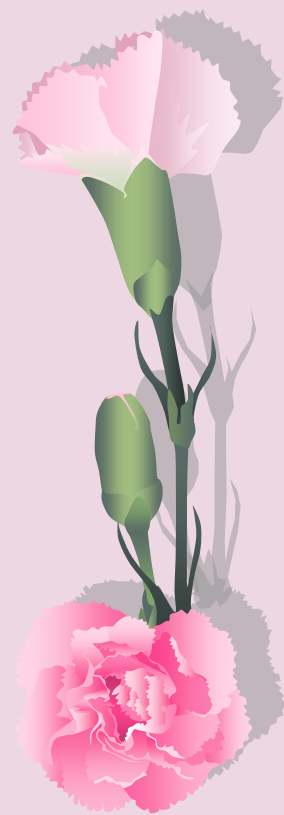


てんかんで有名な人

わたしは誰？？？



私は誰？



患者会の活動

医療関連情報の提供

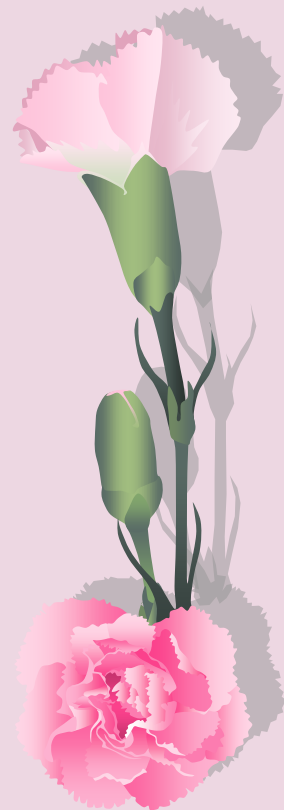
- 専門の病院 最新情報の提供
- セカンドオピニオン
- 医療講演会・相談会

日常生活の相談

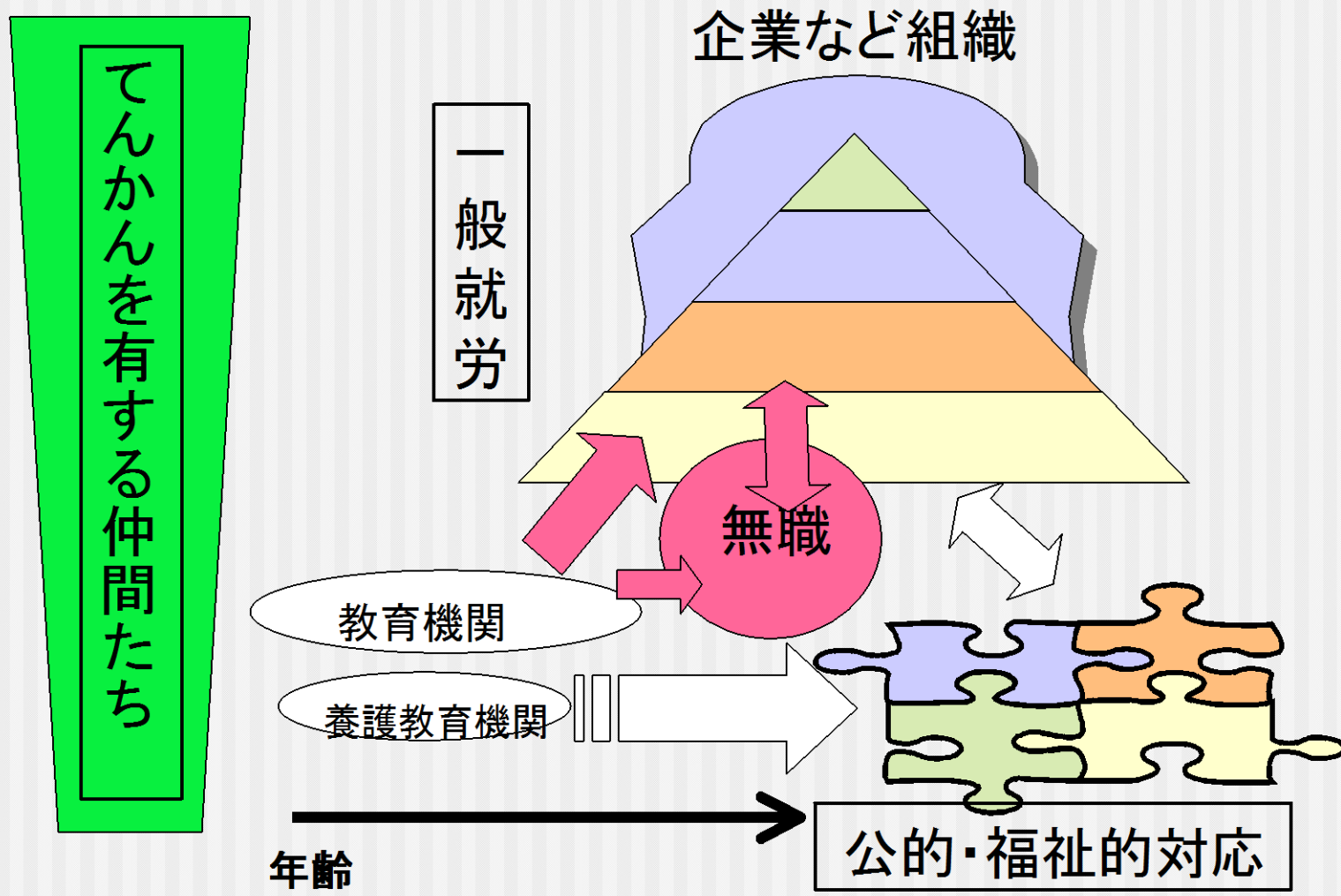
- 教育相談、水泳・修学旅行、学校への告知
- 進路相談、就職相談、結婚・出産の相談、

社会啓発

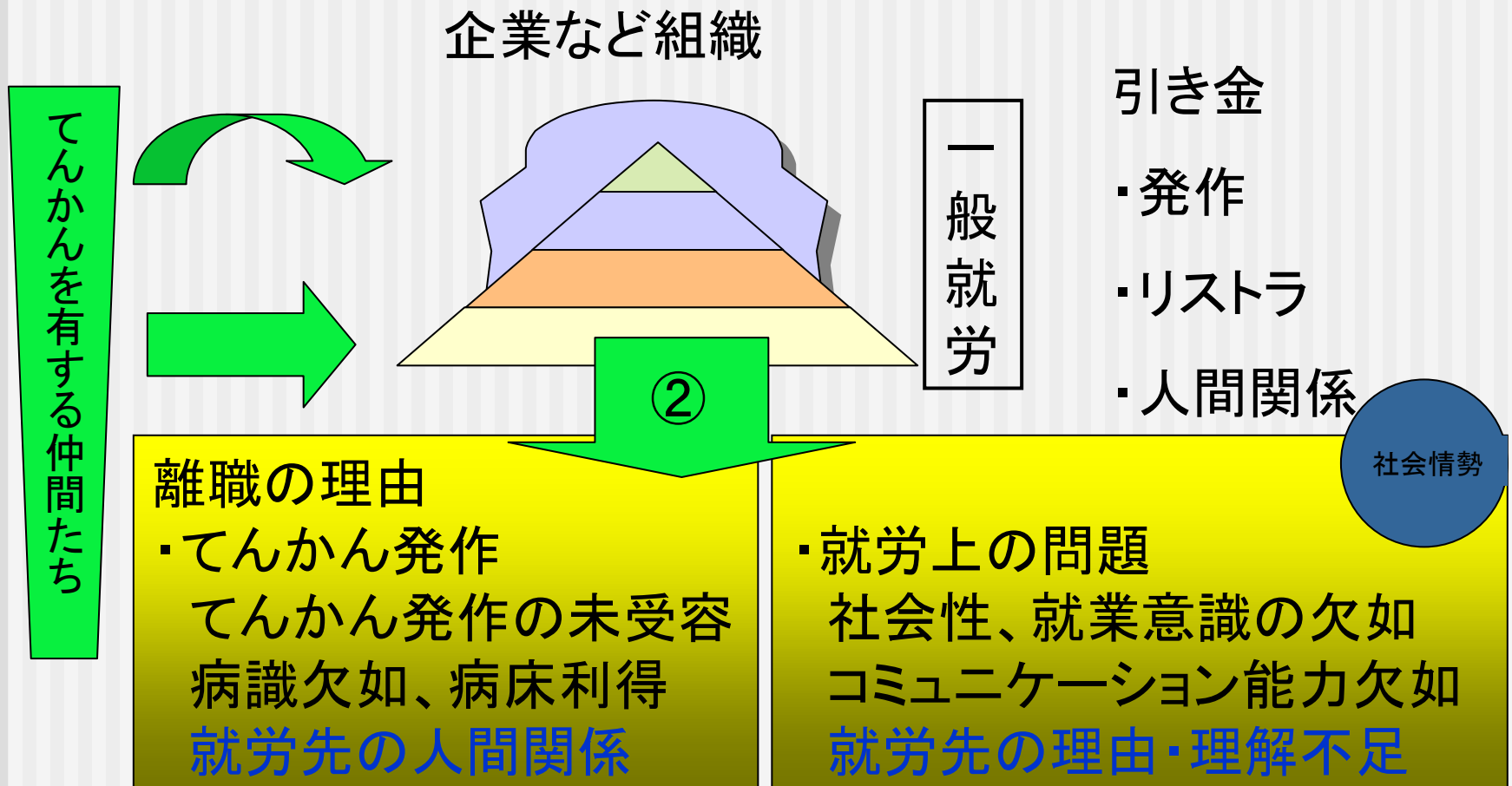
- 専門職(教員、養護教員、保育士など)学習会
- 請願署名
- パンフレット作成



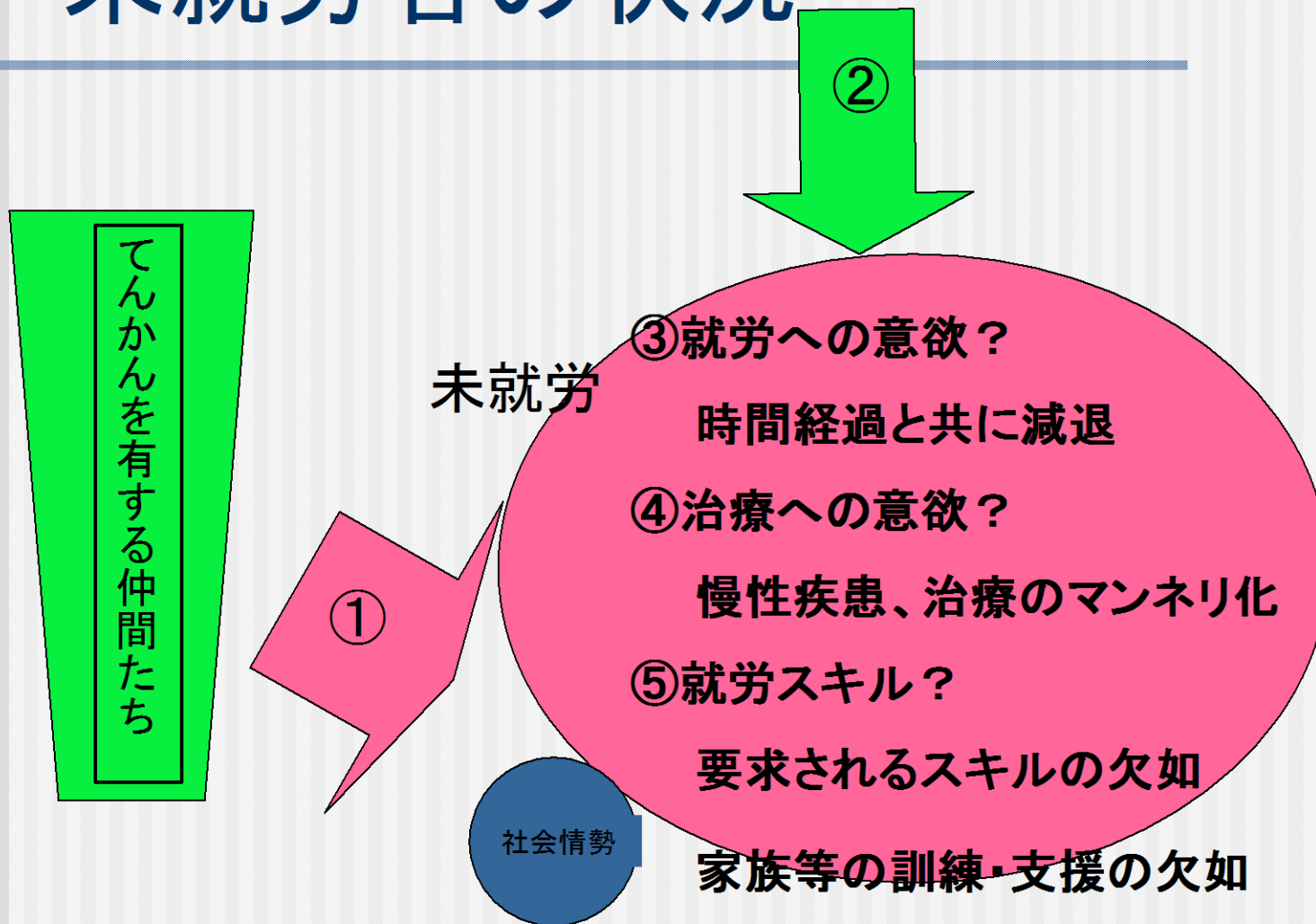
てんかんを有する仲間たち



一般就労経験者の離職理由②



未就労者の状況



一般就労支援のステップ

就労への意欲

- ① 就労者との接触→就労に関する周辺情報の提供
- ②→就労への期待→就労不安(忌避)の明確化
- ③→支援機能の情報提供と利用指導

てんかん治療への意欲

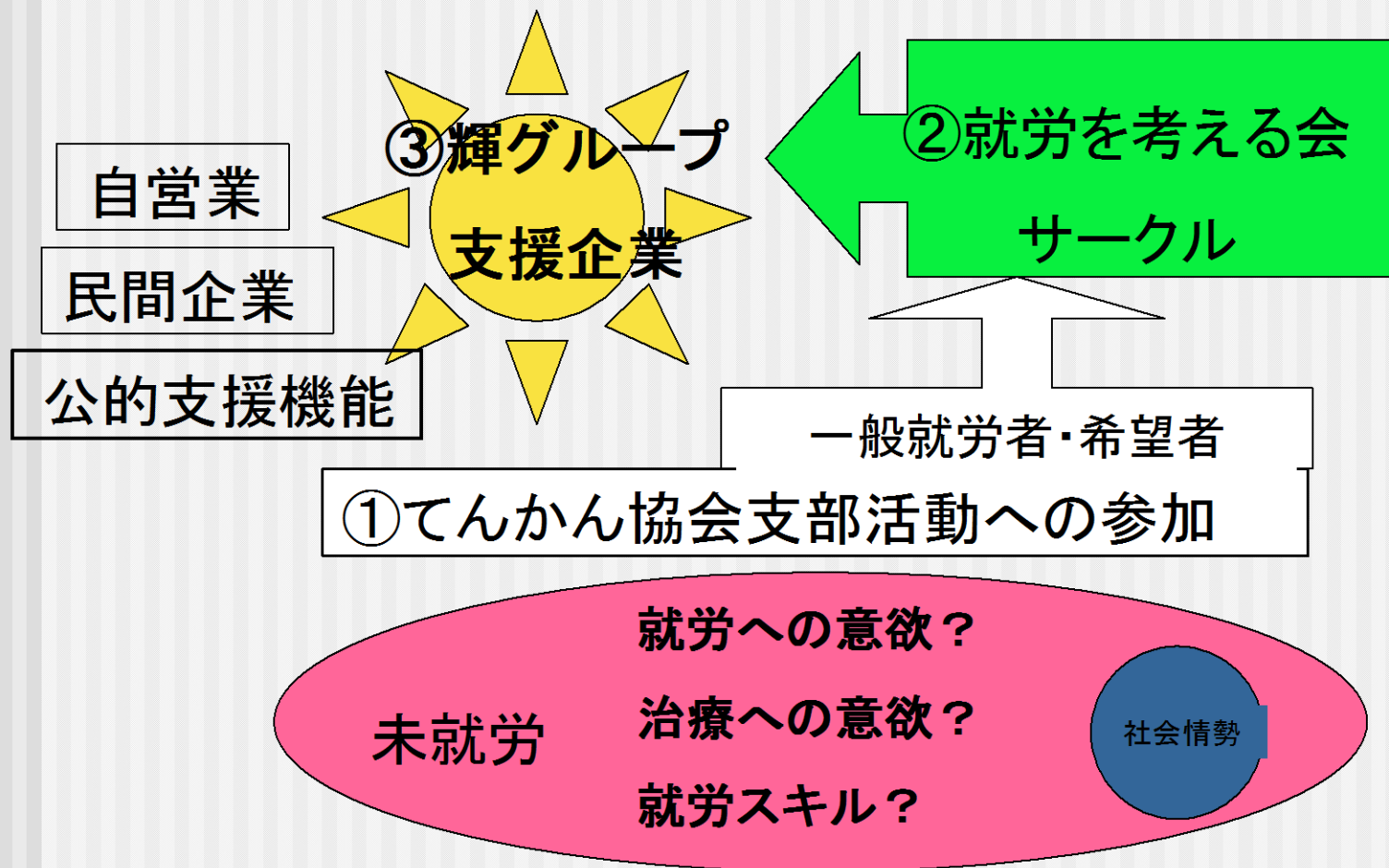
- ①発作への不安→医療講演・相談会への参加を通して正しい理解
- ②→治療現状の見なおし→専門医(セカンドオピニオン)の治療計画理解
- ③→前向きな治療

就労スキルの獲得

- ①社会性など基礎スキルの習得
- ②→目標の仮設定(家族支援の構築)→スキルの獲得準備→取り組み
- ③→(CDA)目標再設定→就労訓練(就労支援会社または公的機関の利用)・
仮就労

てんかんを有する仲間達への

就労支援の構図



就労支援 職場や地域の方へお願い

てんかんを正しく理解して

てんかん発作は多様

- ❖ 仕事に影響しない発作もある。
- ❖ 多くの発作は4から5分でおさまり、1～2時間後には仕事に復帰できる
- ❖ 発作を心配しての過剰な配慮は不要。医師と相談下さい。

生活上の配慮

- ❖ 残業などで睡眠不足にならないように
- ❖ 飲酒などの影響を受けやすいので無理強いはいしない

患者の発作を見たら

- ❖ あわてて救急車を呼ばないで。多くの発作は4から5分でおさまります。
- ❖ 何もしないで(発作のときは押さえつけたり、口にハンカチを加えさせたりしない)
- ❖ 安全なところで休ませてあげてください。

